

学校教育目標(菊鹿小中学校)

「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて

挑戦し続ける児童生徒の育成」

菊鹿小スローガン

～学び合い つながり合い 菊鹿愛～

文責 校長 早田 宗生

菊鹿愛

児童総会

児童会活動の引継ぎ



いよいよ卒業式(24日)直前となりました。

今年の活動が「つながり合い」、次年度以降の菊鹿小学校の伝統となるよう、児童会活動を総括し引き継ぐ児童総会を行いました。各委員会からの発表後には、低学年からもたくさんの「ありがとうございました」という意見が発表されていました。

日本一のあいさつを目指して結成された「あいさ

つプロジェクトチーム」も一旦解散です。「あいさつ名人」も増え、大きな成果を残して次年度に引き継いでくれます。

また、本日は修了式を行い、私はこれまで始業式で伝えた学期毎のキーワード「聞き方」「工夫」「感動」「がんばり」「すぐに」「君と」に込めている菊鹿愛を伝えました。(各キーワードの最初の一文字(ひらがな)を並べてみてください)「ありがとう」があふれる学校って素敵だなと改めて感じました。これも子どもたちのがんばりのお陰です。

菊鹿小を愛する子どもたち

今月、児童に呼びかけて「朝ちょボラ」(朝からちょこっとボランティア活動)をしてもらいました。内容は運動場の整備です。これまでは運動場にスパイクや車のタイヤの跡が目立ち、砂場にまで車が入った跡がある日もありました。これらを見るのがつらくて、一人でブラシがけなどをしていました。もちろん、借用される団体の代表者には個別に御協力をお願いをしています。私がブラシがけをしている姿を見て4年生が「ありがとうございます」と言ってくれたこともあり励まされました。しかし、なかなか追いつかないので児童の力を借りたいと思い「朝ちょボラ」の募集をしました。



右上の写真は初日に集まってくれた18人(!)です。みんないい顔をしていました。10人程来てくれたらと思っていましたが、想定を大きく上回る児童が集まってくれました。これには続きがあり、この日以降もたくさんの児童が手伝ってくれ、2回目には「前回、道具が持てなかったので早めに来ました」といって早く集まり、3回目には開始予定時刻の前に自分たちで主体的に動いてくれ、4回目には3、4年生が中心に動き、5年生が仕上げをするという活動につながりました。

「ありがとう」できることをできる範囲内でも実行し「愛」を行動で示してくれました。

それぞれの立場での菊鹿小の大応援団

ありがとうございました。

16日(木)山鹿市シルバー人材センターの皆さんが、本校の窓ふきをしてくださいました。6年生教室、1階の特別教室や体育館入り口の窓がきれいになりました。菊鹿町の方々には、定例の読み聞かせのほか、ふれあい教室、キャリア教育セミナー、押し花教室・・・等々、たいへんお世話になりました。学校運営協議会委員さん方も含め、大応援団の菊鹿愛を感じました。ありがとうございました。今後も御支援をよろしくお願いします。

